



## NHK 詳細分析

2026-05-04\_radio\_news\_1400

放送: 2026-05-04 | 分析日: 2026-05-13 14:51

Version 2.8-detail | Universal 2.8-detail | Konverter 3.4 (2026-05-20) | 基準: 放送法 第4条

総合スコア

4.1/10

顕著な不均衡

0 = 均衡、10 = 著しく偏向/操作的

## 政治スペクトラム

チャペルヒル専門家調査 (CHES) 2024に基づく分類

チャペルヒル専門家調査 (CHES 2024) は、31か国609人の政治学者による学術調査です。各政党は0 (極左) から10 (極右) のスケールで評価されます。

政党	JCP	CDP	DPP	Komeito	LDP	JIP
CHES	1.50	3.50	4.80	5.20	7.00	7.80
スペクトラム	左派	左派	中道	中道	右派	右派

全体的な傾向は0-10スケールで表示されます (0 = 強い左派優遇、5 = バランス、10 = 強い右派優遇)。計算は左派・右派政党の平均優遇度の差に基づきます (CHES 2024によるグループ分け)。

傾向 (左 - 右)

5.0 / 10

均衡

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

← 左

右 →

出典: Chapel Hill Expert Survey 2024 — [chesdata.eu](https://chesdata.eu) | [Jolly et al., Electoral Studies, 2022](https://doi.org/10.1017/XES.2022.1) | 関値: [Pew Research Center](https://www.pewresearch.org/)

このセクションは政治的文脈を提供し、総合スコアには含まれません。

## ハードファクト — 定量的かつ科学的に検証可能な9つの手法

### 1. 専門家の選定

7/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

定義：誰が専門家として発言しているか。

本放送にはインタビュー形式の専門家出演は存在しない。スタジオ読み上げ形式のみ。ただし、国民生活センターが情報源として引用されている。

専門家 1：国民生活センター（電子レンジ事故報道）

タイムスタンプ：00:02:40

発言：「国民生活センターによりますと、2020年4月から去年12月までに使用中の電子レンジから火や煙が出たという事故の相談が521件予想されています」

位置づけ：独立行政法人、消費者庁所管。

情報源詳細確認：

(a) 資金調達：国民生活センターは独立行政法人であり、国（消費者庁）から運営費交付金を受ける。財政的には国家依存型。

(b) 権限：消費者保護・安全情報提供がマנדートであり、電子レンジ事故の注意喚起は本来の職務範囲内。中立的評価との適合性は高い。

(c) 信頼性マトリクス（情報源信号機、6次元、各-2から+2）：

D1 利益相反：+1 — 消費者保護機関として電子レンジ安全情報に直接的利益相反なし。ただし国家機関として政府方針への批判は構造的に困難。

D2 個人的リスク：0 — 機関としての発表であり個人リスクは測定困難。

D3 専門能力：+2 — 消費者安全テストは本来の専門領域。再現テストの実施は一次情報。

D4 見解の一貫性：+1 — 国民生活センターは継続的に消費者安全情報を発信しており、一貫性あり。

D5 感情化対データ：+2 — 具体的な再現テスト結果（100g、500W、8分で煙、11分で発火）を提示しており、データ基盤が明確。

D6 情報源レベル：+2 — 自ら再現テストを実施した一次情報源。

• 合計：+8 → 情報源信号機：緑（GRÜN）

(c) 専門能力：中立的機関として枠組みされているか：電子レンジ安全情報については適切。ただし「521件予想されています」という表現は「報告されています」の誤りと思われ、音声認識エラーの可能性もある。

欠落している専門家グループ：

- 電子レンジメーカー（パナソニック、シャープ等）の安全担当者：製品設計上の安全機能と企業側の対応策
- 独立した外交政策専門家：日豪経済安全保障協定の実効性評価
- エネルギー経済学者：LNG・石炭依存継続の経済的・環境的コスト分析

まとめ（マトリクス結果）：

- 国民生活センター：情報源信号機 緑、電子レンジ安全情報については適切な情報源。
- 日豪首脳会談報道：専門家ゼロ。政府発表の一方的伝達のみ。これが最大の問題。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 2. 情報源の選定

6/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

一次情報源のない主張 = ペナルティポイント (噂チェック)

定義： どの情報源が引用されているか。多様で独立しているか。

情報源 1： 日本政府（高市首相・外務省）

タイムスタンプ： 00:00:03～00:02:25

発言：（共同宣言・共同声明の内容全体）

(a) 資金調達と運営主体： 日本政府（行政府）。NHKの経営委員会は首相任命であり、構造的な近接性がある。

(b) 構造的利益相反： 政府は自らの外交的成果を肯定的に評価する制度的インセンティブを持つ。政府発表をそのまま伝達することは、政府広報との区別が困難になる。

(c) 対抗的情報源の欠落： 野党声明、独立した外交政策専門家、中国政府の公式見解、国際機関の評価が完全に欠落している。

情報源 2： 国民生活センター

タイムスタンプ： 00:02:40～00:04:54

発言： 電子レンジ事故の統計・再現テスト結果・注意喚起

(a) 資金調達： 独立行政法人、消費者庁所管、国費運営。

(b) 権限との適合性： 消費者安全情報の提供は本来のマンデート内。適合性高い。

(c) 利益相反： 電子レンジ安全情報については直接的利益相反なし。ただし国家機関として政府批判は構造的に困難。

欠落している対抗的情報源： 野党声明、独立した外交政策専門家（大学・シンクタンク）、中国政府の公式見解、電子レンジメーカーの見解。

まとめ： 日豪首脳会談報道において、情報源が実質的に日本政府発表のみに限定されており、独立した検証・対抗的情報源が完全に欠落している。国民生活センターは電子レンジ報道において適切な情報源として機能している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



### 3. 時間配分

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる立場間の発言時間配分。

推定発言時間：

- 日豪首脳会談報道（政府立場）：約00:00:03～00:02:25 → 約142秒（約48%）
- 電子レンジ事故報道（国民生活センター）：約00:02:33～00:04:54 → 約141秒（約48%）
- アナウンサー読み上げ（中立的伝達）：全体を通じて（約100%が読み上げ）
- 野党・批判的立場：0秒（0%）
- 中国側・対抗的立場：0秒（0%）
- 専門家分析：0秒（0%）

まとめ：日豪首脳会談報道において、政府立場の伝達に約142秒を費やす一方、対抗的立場・専門家分析・野党見解には0秒も割り当てられていない。電子レンジ報道は消費者安全情報として比較的バランスが取れているが、政治的報道における時間配分の一方性は明白である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



#### 4. 省略 (選択的省略)

7/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義： 関連性があるにもかかわらず示されていないものは何か。

省略 1：

文脈： 中国側の立場・反論

関連タイムスタンプ： 00:01:01

影響： 「経済的威圧」という表現を使用しながら中国側の見解を一切提示しないことで、視聴者は中国の行動が客観的に問題であるという一方的な印象を受ける。放送法第4条の多角的論点提示義務に抵触する可能性がある。

省略 2：

文脈： 野党の評価・批判

関連タイムスタンプ： 00:00:03～00:02:25 (日豪会談報道全体)

影響： 日豪安全保障・経済協力の強化は与野党間で評価が分かれる政策課題であるにもかかわらず、野党の立場が完全に欠落している。これは政府発表の広報的伝達と区別がつかない。

省略 3：

文脈： LNG・石炭継続供給と気候変動目標の矛盾

関連タイムスタンプ： 00:02:07

影響： 日本政府はCO2中立2050を宣言しているが、LNG・石炭の「円滑な流通」確保を肯定的に報道することで、この政策的矛盾が不可視化される。

まとめ： 日豪首脳会談報道において、対抗的視点（中国側、野党、環境）が組織的に欠落しており、政府発表の一方的伝達に終始している。これは放送法第4条が求める政治的公平・多角的論点提示の観点から重大な問題を示す。

#### 欠落している声

- 外交政策専門家（大学・シンクタンク）： 日豪経済安全保障協定の法的拘束力と実効性について独立した評価を提供できた
- 野党議員（立憲民主党・共産党）： 防衛・安保政策強化に対する批判的立場を提示できた
- 気候変動・エネルギー政策専門家： LNG・石炭継続供給とCO2中立目標2050との矛盾を指摘できた
- 中国研究者： 「経済的威圧」という表現の文脈と中国側の論理を説明できた
- オーストラリア政治専門家： 労働党政権の対日政策の国内的位置づけを解説できた
- 重要鉱物採掘の環境NGO： 採掘プロジェクトの環境・社会的影響を提示できた
- 電子レンジメーカー広報： 製品安全基準と企業側の対応策を説明できた
- 消費者団体代表： 消費者教育の制度的課題と改善提言を提示できた

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 5. 数値操作

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

完全な数値には：絶対値、割合（%）、傾向を含む

定義：統計の選択的・誤解を招く使用。

所見 1：

タイムスタンプ：00:02:48

数値：「2020年4月から去年12月までに...事故の相談が521件予想されています」

欠落している文脈：①「予想されています」は「報告されています」の音声認識エラーと思われ、数値の信頼性に疑問が生じる。②521件が多いか少ないかを判断するための比較基準（前年比、他の家電との比較）が欠落している。③相談件数と実際の事故件数の区別が不明確。

影響：521件という数値が文脈なしに提示されることで、問題の深刻度について視聴者が独自に判断できない。

まとめ：電子レンジ事故の521件という数値は比較基準なしに提示されており、問題の相対的規模を判断する情報が欠落している。日豪首脳会談報道では具体的な財政規模が提示されず、協定の実質的コストが不透明である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 6. 接触による連座 (連座制)

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：否定的なグループ・考えとの関連付けによる信用失墜。

関連付け 1：

タイムスタンプ：00:01:01

引用：「中国を念頭に経済的威圧や輸出規制の強い懸念を示す」

手法：中国を「経済的威圧」の主体として名指しすることで、中国を否定的な行為者として位置づける。直接的な「接触による連座」ではないが、特定国家を否定的文脈で一方的に言及する手法。

影響：視聴者は中国を「脅威」として認識するよう誘導される。

「陰謀論者」等として枠組みされた人物：本放送には該当なし。

まとめ：本放送における「接触による連座」は限定的であるが、中国を「経済的威圧」の主体として一方的に言及する手法は、対抗的文脈なしに特定国家を否定的に枠組みする効果を持つ。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 7. タイミング

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：情報の戦略的配置（冒頭・中間・末尾）。

所見 1：

位置：00:00:03（冒頭）

内容：「高市総理大臣とオーストラリアのアルバニー首相は...共同宣言に加え...2つの共同声明を発表しました」

タイミング効果：放送の冒頭に日豪首脳会談の「成果」を配置することで、視聴者に政府の外交的成功という第一印象を与える。批判的評価・対抗的視点は冒頭には一切登場しない。

所見 2：

位置：00:02:33（中間・転換点）

内容：電子レンジ事故報道への唐突な転換

タイミング効果：政治的に重要な日豪首脳会談報道の直後に、政治的含意のない消費者安全情報を配置することで、視聴者の批判的思考が中断される。日豪会談報道への追加的な批判的検討が促されない構造になっている。

まとめ：冒頭に政府の外交的成果を配置し、批判的視点なしに終了する構造は、政府発表の肯定的印象を強化するタイミング設計となっている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 8. 選択的憤慨

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

憤慨 = バイアス。選択的憤慨は所見を強化する。スコア = 憤慨度 (0-5) + 選択性 (0-5)

定義： 特定の立場に対する憤慨と、同等の他の立場への無反応の非対称性。方法論的原則 (v2.2)： 各評価の前に引き金となる出来事を記録する。反応は、同等の引き金がある他の立場で類似した反応を生まなかった場合にのみ選択的と評価できる。

本放送はスタジオ読み上げ形式であり、感情的反応・憤慨の表明が構造的に発生しない。

所見 1：

タイムスタンプ： 00:01:01

引き金となる出来事： 「中国を念頭に経済的威圧や輸出規制の強い懸念を示す」という表現の使用。

反応： アナウンサーは感情的反応を示さないが、「強い懸念」という評価的表現を中立的に読み上げることで、中国の行動への否定的評価を暗黙的に伝達している。

比較： 日本政府・オーストラリア政府の行動に対して同等の批判的表現は使用されていない。

非対称性： 限定的に証明可能 — ただし、スタジオ読み上げ形式の制約上、「選択的憤慨」の古典的定義には完全には該当しない。

まとめ： 本放送の形式上、選択的憤慨の古典的パターンは発生しない。ただし、「強い懸念」「経済的威圧」という評価的表現を中国に対してのみ使用し、日本・オーストラリアの行動には同等の批判的表現を使用しないことは、トーンの非対称性として記録される。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

## 9. 網羅性

7/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

カバーされた視点の割合

反転: 元の値は網羅性を測定 (高い = 良い)。偏差として表示 (高い = 大きなギャップ)。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## ソフトファクト — 6つの定性的手法

### 10. フレーミング (枠組み設定)

6/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義： テーマがどのように根本的に枠組みされているか。

所見 1：

タイムスタンプ： 00:00:35

引用： 「自由で開かれたインド太平洋を推進し」

操作： 「自由で開かれたインド太平洋 (FOIP)」 は日本政府・LDPの外交政策スローガンであり、政府の政策フレームをそのまま報道の枠組みとして採用している。

なぜ問題か： このフレームを自明の前提として使用することで、視聴者はFOIP構想を中立的・普遍的な価値として受け取るが、これは特定の地政学的立場 (対中抑止) を内包する政治的概念である。

所見 2：

タイムスタンプ： 00:01:01

引用： 「中国を念頭に経済的威圧や輸出規制の強い懸念を示す」

操作： 中国を「懸念の対象」として一方的に位置づけるフレームを採用し、中国側の立場・文脈・反論の余地を与えていない。

なぜ問題か： 「経済的威圧」という評価的表現を事実として提示することで、視聴者に中国の行動が客観的に問題であるという印象を与える。放送法第4条が求める多角的論点提示に反する。

所見 3：

タイムスタンプ： 00:02:21

引用： 「特にLNGと石炭、液体燃料について円滑な流通を図り、理由なく輸出規制をしないことを確認しています」

操作： 化石燃料の安定供給確保を「良いこと」として自明視するフレームを採用し、気候変動・脱炭素の観点からの批判的視点を排除している。

なぜ問題か： LNG・石炭の長期供給確保はCO2中立目標2050と構造的に矛盾するが、この緊張関係が完全に不可視化されている。

まとめ： 日豪首脳会談報道全体が日本政府の外交政策フレーム (FOIP、対中抑止、化石燃料安全保障) をそのまま採用しており、代替的な枠組みが提示されていない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 11. 言葉の選択と用語

5/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：どのような言語が使用されているか。どのような含意が設定されているか。

所見 1：

タイムスタンプ：00:01:01

引用：「中国を念頭に経済的威圧や輸出規制の強い懸念を示す」

操作：「経済的威圧（けいざいてきいあつ）」は評価的・否定的含意を持つ用語であり、中国の行動を断定的に「威圧」と表現している。

なぜ問題か：中立的代替表現は「経済的措置」「貿易上の制限」等であり、「威圧」という表現は特定の政治的立場を反映する。政府声明の用語をそのまま採用することで、報道と政府広報の境界が曖昧になる。

所見 2：

タイムスタンプ：00:00:30

引用：「この分野での両国の戦略的指針と位置づけています」

操作：「戦略的指針」という表現は政府の自己評価をそのまま引用しており、独立した評価を加えていない。

なぜ問題か：政府が自ら「戦略的」と位置づけることを無批判に伝達することで、協定の実効性・法的拘束力への疑問が生じない。

所見 3：

タイムスタンプ：00:01:17

引用：「ルールに基づく国際経済秩序の強化に向け」

操作：「ルールに基づく国際経済秩序」は西側諸国が使用する政治的フレーズであり、中国・ロシア等が異議を唱える概念である。

なぜ問題か：この表現を中立的事実として提示することで、「ルール」の定義をめぐる国際的対立が不可視化される。

まとめ：政府声明の用語・フレーズをほぼそのまま採用しており、独立した言語的評価が欠如している。特に「経済的威圧」という評価的表現の無批判な使用が問題である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 12. 司会者の行動

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：質問、割り込み、共感表明における非対称性。方法論的原則（v2.2）：各評価の前に引き金となる出来事を記録する。介入は、他のゲストで同等の引き金が類似した介入を生まなかった場合にのみ非対称と評価できる。

本放送はスタジオ読み上げ形式であり、インタビュー・討論形式ではない。司会者（アナウンサー）は情報を読み上げるのみで、質問・割り込み・共感表明は構造的に発生しない。

所見 1：

タイムスタンプ：00:00:03～00:02:25

引き金となる出来事：スタジオ読み上げ形式のため、司会者の介入行動は発生しない。

引用（司会者）：（読み上げのみ）

比較：他のゲストとの比較対象なし（インタビュー形式ではないため）

非対称性：証明不可能（形式上、非対称性の評価基準が適用されない）

まとめ：本放送はスタジオ読み上げ形式であり、司会者の行動における非対称性は構造的に発生しない。スコアは低い、これは司会者が公平であることを意味するのではなく、評価基準が適用できないことを意味する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



### 13. 質問の非対称性

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる人物への質問の硬軟の違い。

本放送はスタジオ読み上げ形式であり、インタビュー・質疑応答形式ではない。質問の非対称性を評価する構造的条件が存在しない。

非対称性 1：

対象者なし（インタビュー形式ではないため）

タイムスタンプ：該当なし

比較：評価不可能

まとめ：本放送の形式上、質問の非対称性は発生しない。ただし、インタビュー形式を採用しなかったこと自体が、批判的質問を回避する構造的選択である可能性がある。

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



#### 14. 偽りの均衡 (偽りの均衡)

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義： 実際の不均衡にもかかわらず人工的な均衡を作り出すこと。

本放送においては、偽りの均衡は発生していない。むしろ逆の問題（均衡の完全な欠如）が支配的である。日豪首脳会談報道は政府立場のみを伝達し、対抗的立場を全く提示していない。これは「偽りの均衡」ではなく「均衡の欠如」である。

まとめ： 本放送において偽りの均衡は確認されない。問題は均衡の欠如（政府立場のみの一方的伝達）であり、偽りの均衡とは異なる操作パターンである。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 15. アジェンダ設定

6/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：何が正常・自明とみなされるか。何がアジェンダに上らないか。

所見 1：

設定されたアジェンダ要素：日豪経済安全保障協力の強化が「良いこと」として自明視されている。

タイムスタンプ：00:00:09 — 証拠：「経済安全保障協力の共同宣言に加え...2つの共同声明を発表しました」（成果として中立的に提示）

代替アジェンダ：協定の実効性・法的拘束力への疑問、財政的コスト、野党の評価。

所見 2：

設定されたアジェンダ要素：中国の「経済的威圧」への対抗が正当な政策目標として自明視されている。

タイムスタンプ：00:01:01 — 証拠：「中国を念頭に経済的威圧や輸出規制の強い懸念を示す」

代替アジェンダ：日中経済関係の相互依存性、対話による解決の可能性、「経済的威圧」という概念の定義をめぐる国際的議論。

所見 3：

設定されたアジェンダ要素：LNG・石炭の安定供給確保が「エネルギー安全保障」として肯定的に枠組みされている。

タイムスタンプ：00:02:07 — 証拠：「LNG、液化天然ガスをオーストラリアから最も多く輸入している...円滑な流通を図り」

代替アジェンダ：化石燃料依存継続とCO2中立目標の矛盾、再生可能エネルギーへの転換の可能性。

まとめ：本放送は、日豪安全保障協力の強化・対中抑止・化石燃料安全保障という3つのアジェンダ要素を自明の前提として設定しており、これらに対する批判的検討をアジェンダから排除している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



52. 7-詳細 | 方法論的原則 K5+K13 適用

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

政治的状況

政府と野党

現政権：自由民主党（LDP）＋公明党（Komeito）連立政権。2024年10月27日衆院選後、LDPは191議席（大幅減）、公明党は24議席。過半数割れにより政権基盤は不安定化。高市早苗が首相として在任（トランスクリプト冒頭「高市総理大臣」と明記）。

主要野党：立憲民主党（CDP、148議席）が最大野党。日本維新の会（38議席）、国民民主党（28議席）、れいわ新選組（9議席）、日本共産党（8議席）が続く。

左右スペクトル上の政党配置

政党	左右スコア (0-10)	議席数 (衆院)	政府/野党	核心的立場
日本共産党 (JCP)	1.5	8	野党	憲法9条堅持、即時脱原発、反軍拡
社民党 (SDP)	2.5	1	野党	平和主義、脱原発、護憲
れいわ新選組	2.5	9	野党	消費税廃止、反軍拡、MMT経済
立憲民主党 (CDP)	3.5	148	野党	護憲、再分配、脱原発中期
公明党	5.0	24	与党	平和志向、社会保障、連立ブレーキ役

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

国民民主党 (DPP)	5.5	28	中間	消費税減税、実用主義、日米同盟維持
自由民主党 (LDP)	7.0	191	与党	改憲、防衛増強、原発再稼働、親ビジネス
日本維新の会 (Ishin)	7.0	38	野党	規制緩和、改憲、防衛強化、大阪改革
参政党	9.0	3	野党	超国家主義、反グローバリズム

注記：日本はCHES（チャペルヒル専門家調査）の対象外。スコアはMARPOR、Laver/Benoit 2017、UTokyo-Asahi調査、革新保守スケールの統合値。Pewしきい値：4.5未満＝左派、4.5-5.5＝中道、5.5超＝右派。

### 主要な政治的対立軸

日本の現在の主要対立軸は、①憲法改正（特に9条）の是非、②防衛費増強（GDP比2%目標）の速度と範囲、③エネルギー政策（原発再稼働対脱原発）、④経済安全保障と対中政策の強硬度をめぐる与野党間の緊張である。2024年衆院選でLDDが過半数割れしたことにより、政権の安定性と政策実現能力が問われている。インド太平洋戦略における日米豪連携の深化は与党が推進する一方、野党の一部は外交的解決を優先する立場をとる。

### メディア状況

NHKは放送法に基づく公共放送であり、経営委員会の12名は首相が任命（国会同意）する。安倍政権期（2012-2020年）以降、「安倍のNHK」との批判が継続しており、記者クラブ制度が政府との構造的近接性を生む。RSF報道自由度ランキングでは日本は70位（2024年）にとどまり、放送法第4条が定める政治的公平・多角的論点提示の義務が形式的に課されている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 章 1 — 政党政治的バイアス

### 政党別評価

政党	スコア (-5~+5)	放送内の描写対党の綱領的立場
LDP (自民党)	+2	00:00:03 「高市総理大臣と...共同宣言」 — 綱領的立場：インド太平洋戦略、経済安全保障強化 — 政府の外交的成果として肯定的に描写。LDPの核心政策（FOIP、対中抑止）が批判なしに伝達されており、綱領との整合性は高いが一方向的に好意的。
CDP (立憲民主党)	0	言及なし — 綱領的立場：外交的解決優先、防衛増強に慎重 — 完全に欠落。スコア0は「言及なし」を意味するが、野党の立場が欠落していること自体がLDP有利の構造を生む。
公明党	0	言及なし — 綱領的立場：平和志向、連立ブレーキ役 — 完全に欠落。
維新の会 (Ishin)	0	言及なし — 綱領的立場：防衛強化賛成、独自改憲案 — 完全に欠落。
共産党 (JCP)	0	言及なし — 綱領的立場：日米安保廃棄、反軍拡 — 完全に欠落。
国民民主党 (DPP)	0	言及なし — 綱領的立場：中道実用主義、日米同盟維持 — 完全に欠落。

### 政党バイアスマとめ

- 最も正確な描写：LDP (スコア+2) — ただし「正確」ではなく「一方向的に好意的」
- 最も強い歪曲：CDP (スコア0) — 欠落による間接的不利益
- 0からの平均乖離：0.3 (LDPの+2のみが非ゼロ)
- 総括：本放送は政党政治的観点から、LDPの外交政策を批判なしに伝達する一方、野党の立場を完全に欠落させている。これはLDPに有利な非対称的構造を生んでいる。ただし、本放送が短いニュース速報形式であることを考慮すると、全政党の立場を網羅することは現実的に困難であり、この点は評価において留保が必要である。

### 左右スペクトル上の全体的傾向

傾向スコア：-1.2

(正=左派有利、負=右派有利、0.0=均衡)

分類：右派有利

理由：本放送は、LDPの核心的外交政策（FOIP、対中抑止、化石燃料安全保障）を批判なしに伝達し、これらに批判的な左派・中道左派の立場（CDP、JCP、れいわ）を完全に欠落させている。「経済的威圧」「ルールに基づく国際経済秩序」という右派的フレームの採用、および脱炭素・平和外交という左派のアジェンダの排除が、右派有利の

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

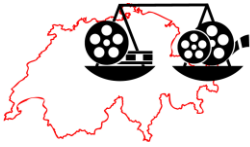
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

傾向を生んでいる。ただし、スコアが-1.2にとどまるのは、本放送が短いニュース速報形式であり、意図的な操作よりも構造的省略の問題が支配的であるためである。

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 章 2 — 放送情報とテーマの枠組み

### 放送データ

- タイトル：NHKニュース（午後2時）
- 日付（ファイル名より）：不明（トランスクリプトに日付記載なし）
- 推定尺：約4分54秒（トランスクリプト終端より）
- 司会者／レポーター：特定不可（アナウンサー名の言及なし）
- インタビュー対象者：なし（スタジオ読み上げ形式のみ）

人物	役職	政党／所属	政治的スペクトル
高市早苗（言及のみ）	内閣総理大臣	LDP	右派（LDP内強硬保守）
アルバニージー（言及のみ）	オーストラリア首相	労働党	中道左派
国民生活センター（言及のみ）	独立行政法人	政府系	中立（消費者保護）

### 主要テーマ

本放送は、①日豪首脳会談における経済安全保障・重要鉱物・エネルギー分野の共同宣言の内容報告、および②電子レンジの誤使用による発火事故に関する国民生活センターの注意喚起、という2つの独立したニュースアイテムで構成される。

### 均衡ある放送に必要な視点（世界知識に基づく独立評価）

日豪首脳会談報道に関して：

- 【A】 中国側の立場・反応：経済的威圧との表現に対する中国政府の見解
- 【B】 野党の批判的見解：防衛・安保政策強化に対する立憲民主党・共産党等の立場
- 【C】 経済界の懸念：LNG・石炭依存継続に対する気候変動・脱炭素の観点
- 【D】 専門家分析：経済安全保障協定の実効性・法的拘束力に関する独立した評価
- 【E】 オーストラリア国内の政治的文脈：労働党政権の対日政策の国内的位置づけ
- 【F】 TPP推進の課題：米国不参加という構造的課題
- 【G】 重要鉱物投資の環境・社会的影響：採掘プロジェクトの現地コミュニティへの影響
- 【H】 財政的コスト：共同宣言に伴う日本の財政負担の具体的規模

電子レンジ事故報道に関して：

- 【I】 メーカー側の見解・対応策
- 【J】 消費者教育の現状と課題

### 各視点の取り扱い確認

【A】 中国側の立場・反応：未言及

タイムスタンプ：00:01:01 — 引用：「中国を念頭に経済的威圧や輸出規制の強い懸念を示す」

評価：中国を一方向的に「懸念の対象」として位置づけ、中国側の反論・文脈は一切提示されていない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**【B】** 野党の批判的見解：未言及

タイムスタンプ：該当箇所なし

評価：日豪合意の内容が政府発表そのままの形で報道され、野党の評価・批判は完全に欠落している。

**【C】** 脱炭素・気候変動の観点：未言及

タイムスタンプ：00:02:07 — 引用：「LNG、液化天然ガスをオーストラリアから最も多く輸入している」

評価：LNG・石炭の継続的供給確保を肯定的に報道しているが、気候変動目標との矛盾は言及されていない。

**【D】** 専門家による独立分析：未言及

タイムスタンプ：該当箇所なし

評価：政府発表の内容を専門家の検証なしにそのまま伝達している。

**【E】** オーストラリア国内の政治的文脈：未言及

タイムスタンプ：該当箇所なし

評価：アルバニー首相の国内政治的立場・労働党の対外政策の文脈が欠落している。

**【F】** TPP推進の課題（米国不参加）：未言及

タイムスタンプ：00:01:17 — 引用：「共に加盟するTPP環太平洋パートナーシップ協定を推進する」

評価：TPPの最大の構造的問題である米国不参加への言及がなく、「推進」が自明視されている。

**【G】** 重要鉱物採掘の環境・社会的影響：未言及

タイムスタンプ：00:01:41 — 引用：「レアアースや...ガリウムなど...6つの投資生産の重点プロジェクト」

評価：採掘プロジェクトの環境負荷・現地住民への影響は一切触れられていない。

**【H】** 財政的コスト：断片的言及のみ

タイムスタンプ：00:01:53 — 引用：「日本の国際的な財政の貢献を進めるとしてしています」（音声不明瞭・重複あり）

評価：具体的な財政規模の提示なし。

**【I】** メーカー側の見解：未言及

タイムスタンプ：00:02:33以降

評価：電子レンジ事故報道においてメーカーの対応・見解が欠落している。

**【J】** 消費者教育の現状：部分的言及

タイムスタンプ：00:03:40 — 引用：「食品の加熱の質疑に注意することや...確認すること」

評価：注意喚起のみで、消費者教育の制度的課題には踏み込んでいない。

**完全性スコア：3/10**

理由：日豪首脳会談報道において、政府発表の内容を一方向的に伝達するのみで、対抗的視点（中国側、野党、専門家、環境）が完全に欠落している。電子レンジ報道は消費者安全情報として比較的完結しているが、メーカー側の見解が欠けている。全体として、10の必要視点のうち実質的に取り上げられたのは1-2項目にとどまる。

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

### 章 3 — 15 基準 : 詳細分析

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 章 4 — 総合評価

### 15基準の総合評価

#### 個別スコア — 全15基準

番号	基準	Score	評価
1	専門家の選定	7/10	著しい偏り
2	情報源の選定	6/10	顕著な偏り
3	時間配分	4/10	軽微な偏り
4	省略（選択的省略）	7/10	著しい偏り
5	数値操作	3/10	軽微な偏り
6	接触による連座（連座制）	2/10	問題なし
7	タイミング	4/10	軽微な偏り
8	選択的憤慨	2/10	問題なし
9	網羅性	7/10	著しい偏り
10	フレーミング（枠組み設定）	6/10	顕著な偏り
11	言葉の選択と用語	5/10	顕著な偏り
12	司会者の行動	2/10	問題なし
13	質問の非対称性	1/10	問題なし
14	偽りの均衡（偽りの均衡）	1/10	問題なし
15	アジェンダ設定	6/10	顕著な偏り
52	7-詳細   方法論的原則 K5+K13 適用	0/10	問題なし

ハードファクトスコア (1-8)

**4.7/10**

顕著な不均衡

ソフトファクトスコア (9-14)

**3.5/10**

軽微な不均衡

総合スコア

**4.1/10**

顕著な不均衡

ハードファクトとソフトファクトの平均

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 凡例 — スコアの定義

### 基準ごとの個別スコア (0-10)

0	所見なし	関連する異常は検出されませんでした。
1-2	軽微な所見	バランスに実質的な影響のない軽微な異常。
3-4	軽度～中程度の所見	認識可能な傾向；影響の関連性は低～中程度。
5	影響のある中程度の所見	視聴者の意見形成に影響を与える関連性のある偏り。
6	重要な所見 (閾値)	スコア6以上は「重要な所見」に分類されます。
7	重要な所見	明確で十分に文書化された偏り、明らかな影響の関連性。
8-9	深刻な所見	顕著な偏り；この基準で複数の文書化された個別の所見。
10	最大の深刻度	この基準における体系的で広範な偏り。

### 集約偏差指数 — 解釈範囲

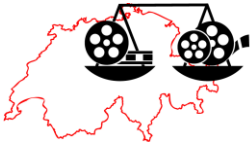
0.0 - 2.5	問題なし	重要なパターンは検出されず；放送は公平性基準を満たしています。
2.6 - 4.0	軽微な偏り	孤立した異常；統計的に認識可能だが許容範囲内。
4.1 - 6.0	重要な偏り	複数の重要な所見；視点の多様性に対する関連性のある損傷。
6.1 - 8.0	公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度	放送をまたぐ顕著なパターン；高い影響の関連性。
8.1 - 10	根本的な体系的・一方向性。非常に高いバイアス度	ほぼ全ての基準で最大の深刻度；体系的に一方的な報道。

### 政党バイアス (-5~+5)

-5~-3	強く不利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過小代表されている。
-2~-1	やや不利	認識可能だが軽微な不利。
0	中立	検出可能な優遇や不利益なし。
+1~+2	やや有利	認識可能だが軽微な優遇。
+3~+5	強く有利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過大代表されている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 章 5 — 法的評価（放送法第4条）

### 放送法第4条に基づく評価

放送法第4条は、政治的公平、報道の正確性、および多角的な論点の提示を求めている。

違反 1 :

規範：放送法第4条第2号（政治的公平）

事実：日豪首脳会談報道において、政府（LDP）の外交政策を批判なしに伝達し、野党の評価・批判を完全に欠落させている。

証拠：タイムスタンプ00:00:03～00:02:25 — 引用：「高市総理大臣とオーストラリアのアルバニー首相は...共同宣言に加え...2つの共同声明を発表しました」（野党の評価への言及なし）

評価：政治的に争点となっている外交・安全保障政策について、与党の立場のみを伝達し野党の立場を欠落させることは、放送法第4条第2号が求める政治的公平の観点から問題がある。ただし、短いニュース速報形式という文脈を考慮すると、単一の放送のみで違反を断定することは困難であり、継続的なパターンとして評価する必要がある。

違反 2 :

規範：放送法第4条第4号（多角的な論点の提示）

事実：「中国を念頭に経済的威圧や輸出規制の強い懸念を示す」という表現において、中国側の立場・反論・文脈が一切提示されていない。

証拠：タイムスタンプ00:01:01 — 引用：「中国を念頭に経済的威圧や輸出規制の強い懸念を示す」

評価：「経済的威圧」という評価的表現を使用しながら、中国側の立場を提示しないことは、放送法第4条第4号が求める多角的な論点提示の義務に反する可能性がある。

違反 3 :

規範：放送法第4条第3号（報道の正確性）

事実：「事故の相談が521件予想されています」という表現は、「報告されています」の音声認識エラーと思われ、数値の文脈（比較基準・相談件数と事故件数の区別）が欠落している。

証拠：タイムスタンプ00:02:52 — 引用：「事故の相談が521件予想されています」

評価：「予想」という表現は事実の伝達として不正確であり、放送法第4条第3号が求める報道の正確性の観点から問題がある。ただし、これは意図的な操作よりも音声認識・編集上のエラーである可能性が高い。

### 放送法第4条に基づく総合評価

本放送は、日豪首脳会談報道において放送法第4条第2号（政治的公平）および第4号（多角的な論点の提示）の観点から問題のある構造を示している。政府発表を批判なしに伝達し、野党の立場・中国側の見解・独立した専門家分析を欠落させることは、公共放送としての義務に照らして問題がある。ただし、本放送は約5分間のニュース速報形式であり、全ての論点を網羅することは現実的に困難であるという文脈も考慮が必要である。放送法第4条違反の判断は、単一の放送ではなく継続的なパターンとして評価されるべきであり、本分析は一つの事例として記録される。電子レンジ事故報道については、消費者安全情報として放送法の要件を概ね満たしている。

情報源詳細確認（義務：引用された全専門機関・NGO・相談機関）

国民生活センター

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung**  
**Association suisse pour une information équilibrée**  
**Associazione svizzera per un reporting equilibrato**

1. 資金調達：独立行政法人、消費者庁所管。運営費交付金は国費（税金）。財政的に国家依存型。
2. 権限：消費者保護・安全情報提供・苦情処理がマニフェスト。電子レンジ安全情報の提供は本来の職務範囲内であり、権限との適合性は高い。
3. 利益相反：電子レンジ安全情報については直接的な制度的利益相反なし。ただし、国家機関として政府の政策・規制に対する批判は構造的に困難。消費者庁の予算・権限拡大に関連する情報については、機関の存続・拡大への制度的インセンティブが存在する可能性がある。

**4. 信頼性マトリクス（情報源信号機、6次元）：**

- D1 利益相反：+1 — 電子レンジ安全情報に直接的利益相反なし
- D2 個人的リスク：0 — 機関としての発表、個人リスク測定困難
- D3 専門能力：+2 — 消費者安全テストは本来の専門領域、再現テスト実施は一次情報
- D4 見解の一貫性：+1 — 継続的な消費者安全情報発信、一貫性あり
- D5 感情化対データ：+2 — 具体的な再現テスト結果（100g、500W、8分で煙、11分で発火）を提示、データ基盤明確
- D6 情報源レベル：+2 — 自ら再現テストを実施した一次情報源

・ 合計：+8 → 情報源信号機：緑（GRÜN）

5. 対抗的見解：電子レンジメーカー（パナソニック、シャープ等）の安全担当者が製品設計上の安全機能と企業側の対応策について対抗的見解を提供できたが、本放送では引用されていない。

重要注記：「国民生活センターが注意を呼びかけています」という表現は、機関の権威を社会的帰属として使用しているが、本分析では上記の6次元評価に基づき独立して検証した。電子レンジ安全情報については、国民生活センターは適切な情報源として機能していると評価される。

本分析はバージョン2.7-詳細、方法論的原則K5+K13に基づき作成。全ての評価はトランスクリプトの直接引用に基づき、推測的判断は明示的に区別されている。

**法的・方法論的注記**

事実認定ではない	提示された結果は、個人、編集チーム、または放送に関する事実認定を構成するものではありません。標準化された運用化の産物であり、個人の責任の認定ではありません。
法的判断ではない	集計された逸脱指数は放送法 第4条に基づく法的評価に代わるものではありません。特定の放送が法的要件に違反しているかどうかの判断は、管轄当局（特に総務省）の専権事項です。
因果関係の証明ではない	統計的相関は、因果関係や編集意図の証明として解釈されるべきではありません。逸脱値は、テーマ選択、ニュース環境、政治的論争性、またはフォーマットの論理によって影響を受ける可能性があります。
意図の判断ではない	分析は放送の観察可能な構造的特性を測定します。スコア7は、重大な偏りが検出されたことを意味し、編集チームがそれを意図したことを意味しません。方法論は動機や戦略的目標について主張しません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

ヒューリスティック  
な比較ツール

この指数は、数千の放送にわたる比較パターン認識に役立ち、個々のセグメントの正確なメトリック測定ではありません。閾値はヒューリスティックな方向付けに役立ち、厳密な法的資格付けではありません。

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 付録1：国内放送法

### 法的根拠 日本 — NHK

#### 法律

- 放送法（昭和25年法律第132号、最終改正 2024年）
- NHK受信規約
- 電波法

#### 放送法 第4条（編集基準）

放送事業者は、国内放送及び内外放送（以下「国内放送等」という。）の放送番組の編集に当たっては、次の各号の定めるところによらなければならない。

- 公安及び善良な風俗を害しないこと。
- 政治的に公平であること。
- 報道は事実をまげないですること。
- 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

出典：e-Gov法令検索（laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000132）

#### バイアス分析の四つの柱

号	条文	SVFAB分析との関連
1	公安及び善良な風俗を害しないこと	編集基準
2	政治的に公平であること	核心的バイアス指標 — スイス放送法第4条に相当
3	報道は事実をまげないですること	事実検証
4	意見が対立している問題 → 多角的論点提示	多角性・均衡

#### スイスとの比較

項目	スイス（SRG）	日本（NHK）
法律	放送通信法 第4条	放送法 第4条
独立規制機関	UBI（拘束力あり）	BPO（拘束力なし）
国家規制機関	BAKOM/UVEK	総務省
執行	UBIは苦情を認容可能、BAKOMは制裁可能	BPOは勧告のみ、総務省は行政指導
財源	Serafe受信料	NHK受信料（月額約1,100円）
自主規制	中程度（UBIは独立）	脆弱（BPOはNHKが共同出資）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 監督機関

### 総務省

- 放送行政を所管する国家機関
- 放送免許の付与
- 行政指導の発出権限
- NHK予算・事業計画・受信料の承認
- 理論上は免許取消権限を保有
- 直近の措置：2024年9月、NHKラジオ国際放送尖閣事件に対する行政指導

### BPO（放送倫理・番組向上機構）

- 2003年設立、非政府、自主規制機関
- NHKとJBA（日本民間放送連盟）が共同運営
- 三委員会：放送倫理検証、放送人権、青少年
- 決定に法的拘束力なし — 自主的遵守に依拠
- NHKがBPOを共同出資 — 構造的独立性に限界

### NHKに対する主なBPO決定

年	事案	判断
2015	クローズアップ現代 — やらせ疑惑	重大な放送倫理違反
2022	BS五輪ドキュメンタリー（河瀬直美）	重大な放送倫理違反 — 虚偽字幕
2023	ニュースウオッチ9 — COVID-19報道	放送倫理違反 — ワクチン被害者遺族の誤報

### 国際比較参照

- RSF 報道自由度指数：日本 2024年 70位（スイス9位、ノルウェー1位と大きな差）
- Freedom House：日本は「自由」に分類、しかしメディアの自由は圧力下（記者クラブ、政府近接性）

### 構造的背景

NHKは世界最大の公共放送機関（予算約7,200億円 / 約45億ユーロ）。経営委員会（12名、首相が任命、国会同意）を通じた構造的な政府近接性がある。記者クラブ制度が政府情報へのアクセスをメディア各社に限定し、ジャーナリストと政府の距離を縮めている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



## 付録2 : 科学的参考文献

### 参考文献

- Bennett, W. L. (1990). Toward a theory of press-state relations in the United States. *Journal of Communication*, 40(2), 103–125.
- Berelson, B. (1952). *Content analysis in communication research*. Free Press.
- Entman, R. M. (1993). Framing: Toward clarification of a fractured paradigm. *Journal of Communication*, 43(4), 51–58.
- fög – Forschungszentrum Öffentlichkeit und Gesellschaft (2024). *Jahrbuch Qualität der Medien 2024*. Schwabe.
- Gilardi, F., Alizadeh, M. & Kubli, M. (2023). ChatGPT outperforms crowd workers for text-annotation tasks. *PNAS*, 120(30).
- Iyengar, S. & Kinder, D. R. (1987). *News that matters: Television and American opinion*. University of Chicago Press.
- Jolly, S. et al. (2022). Chapel Hill Expert Survey trend file, 1999–2019. *Electoral Studies*, 75, 102420.
- Krippendorff, K. (2004). *Content analysis: An introduction to its methodology* (2nd ed.). Sage.
- McCombs, M. E. & Shaw, D. L. (1972). The agenda-setting function of mass media. *Public Opinion Quarterly*, 36(2), 176–187.
- Shoemaker, P. J. & Vos, T. P. (2009). *Gatekeeping theory*. Routledge.
- SVFAB (2026). *Methodenbericht v4.1: Zählbare Kriterien und Multi-Modell-Kreuzvalidierung*.
- Törnberg, P. (2023). ChatGPT-4 outperforms experts and crowd workers in annotating political Twitter messages. [arXiv:2304.06588](https://arxiv.org/abs/2304.06588).

### SVFAB Working Papers

- Schläpfer, D. (2026). Systematic AI-Assisted Analysis of Public Broadcaster Impartiality: A Scalable Methodological Framework for Measuring Structural Bias in Public Service Media. [SSRN 6688478](https://ssrn.com/abstract=6688478)
- Schläpfer, D. (2026). Measuring Editorial Noise: A Retrospective Suppression Index for Public Broadcasting Content Analysis. [SSRN 6733280](https://ssrn.com/abstract=6733280)
- Schläpfer, D. (2026). Source Traffic Light: A Six-Dimensional Credibility Framework for Systematic Source Assessment in Public Service Media. [SSRN 6733880](https://ssrn.com/abstract=6733880)

David Schläpfer — ORCID: 0009-0000-5671-9266



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

## SVFAB 보고서 및 회원 가입

SVFAB.ch에서는 상세한 보고서를 받아보실 수 있을 뿐 아니라, 모든 선적 건에 대한 보고서 생성 서비스도 이용하실 수 있습니다(유료 서비스).

저희는 지속 가능한 활동을 위해 회원 가입과 기부에 의존하고 있습니다.

### 연락처 및 추가 정보:

[www.SVFAB.ch](http://www.SVFAB.ch) | [Kontakt@SVFAB.ch](mailto:Kontakt@SVFAB.ch)

**은행 계좌:** PostFinance – POFICHBE

**IBAN:** CH32 0900 0000 1675 6251 1

**수취인:** SVFAB, P.O.Box CH-8021 Zurich 1

**회장:** 다비드 Schlaepfer / Schlaepfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato

SVFAB에서 다음 책들을 구입하실 수 있습니다.

주문은 [www.svfab.ch](http://www.svfab.ch) 또는 [kontakt@svfab.ch](mailto:kontakt@svfab.ch)를 통해 하실 수 있습니다.



스위스의 '보도 자료 절반 공개' 정책에 대한 대응으로 불균형적인 보도가 나타나고 있습니다. 이 책은 취재진과 정보원 선정부터 시작하여 조작 기법을 상세히 설명합니다. 이어 누락, 프레임 설정, 시간적 프레임 설정, 연좌제, 감정적 이용, 맥락 제거 등 15가지 원칙을 다양한 사례와 함께 제시합니다. 또한, 우리 자신이 이러한 기법을 어떻게 활용하는지 보여줌으로써 이해뿐 아니라 공감까지 이끌어냅니다.

선택 사양으로 트럼프 카드가 함께 제공됩니다.

오디오북으로도 이용 가능합니다.



인터뷰는 대화가 아닙니다. 누군가 대본을 써놓은 무대입니다.

이 점을 이해하지 못하는 사람은 언론에 먹칠을 하는 셈입니다. 좋은 인용구가 잘못 편집되고, 정확한 발언이 잘못된 맥락에서 전달되며, 솔직한 답변이 자백처럼 포장되는 사례가 발생합니다.

이 책은 언론 비평서가 아닙니다. 마이크 앞에 선 모든 사람을 위한 실용적인 도구 상자입니다. 7개의 장으로 구성되어 있으며, 7가지 도구를 제공합니다. 인터뷰의 본질, 가장 흔한 7가지 함정, 세 가지 기본 원칙(앵커링, 프레임링, 경계 설정), 1시간 만에 인터뷰 준비하는 방법, 몸짓과 목소리 사용법, 인터뷰가 잘못될 경우 대처법, 그리고 인터뷰 후 중요한 점까지 다룹니다.

정치인, 활동가, 기업가, 내부고발자 등 대중의 시선을 받는 모든 사람이 언론의 흐름을 이해하고, 더 이상 수동적으로 따라가지 않고 주도적으로 이끌어갈 수 있도록 돕습니다.

A5 사이즈로 휴대가 간편합니다. 준비, 참고, 후속 조치 및 어려움에 직면했을 때를 위해.

**회장:** 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)

**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



**Schweizerischer Verein** für ausgewogene Berichterstattung  
**Association suisse** pour une information équilibrée  
**Associazione svizzera** per un reporting equilibrato



당신은 세상을 제대로 본다고 생각하지만, 사실은 누군가가 씌운 틀을 보고 있는 것입니다. 프레임은 세상에서 가장 오래되고 정교한 조작 기술입니다. 사실 자체를 바꾸는 것이 아니라, 우리가 사실을 어떻게 받아들이고, 어떻게 느끼고, 무엇을 믿고, 어떻게 결정하는지를 바꿉니다. 그리고 이 기술은 효과적입니다. 왜냐하면 우리 모두가 매일 무의식적으로, 당신도 참여하고 있기 때문입니다. 이 책은 딱딱한 교과서가 아닙니다. 재미있고, 직접적이며, 실생활 예시로 가득한 워크북입니다. 다른 사람들이 당신을 어떻게 프레임에 담는지 배우는 것뿐만 아니라, 스스로를 어떻게 프레임에 담는지, 그리고 그것을 의식적이고 공정하게 사용하는 방법을 배우게 될 것입니다.

프레임을 이해하는 사람들은 세상을 더 명확하게 보고, 뉴스를 다른 시각으로 바라보며, 더 자신감 있게 대화를 이끌어 나가고, 다른 사람이 선택한 프레임에 쉽게 휘둘리지 않게 됩니다.

정치, 미디어, 그리고 일상생활에서 가져온 다양한 연습 문제와 구체적인 예시, 그리고 중간중간 웃음까지 더해져 있습니다.

**스타일 있게 프레임을 활용하세요. 프레임이 모든 것을 바꾸기 때문입니다.**

**회장:** 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** [kontakt@SVFAB.ch](mailto:kontakt@SVFAB.ch)  
**주소:** SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1